

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所

CHIKUMA RIVER INFORMATION ROOM 千曲川情報館

防災/災害情報 ニュース/イベント 入札契約情報 事務所と事業 環境への取り組み 知る・遊ぶ・協働 総合学習素材 リンク集

トップページ > ニュース/イベント > 千曲川だより

千曲川だより

発行: 千曲川河川事務所

掲載日 2017/11/29

飯山激特事業竣工30周年記念シンポジウム ～水害に学び、防災を考える～ を開催しました

飯山市では、昭和57年樽川堤防の決壊、翌58年の千曲川の堤防決壊により、2年連続で大きな被害を受けました。その後、千曲川・樽川河川激甚災害対策特別緊急事業の竣工から30年を迎え、『水害を学び、防災を考える』をテーマに飯山激特事業竣工30周年記念シンポジウムを開催しました。

約300名の参加があり、地域の皆さまとこれからの地域防災を考える機会となりました。

【シンポジウム内容】

- 基調講演「水害対策の今昔 -飯山水害後の進展-」(吉谷純一 信州大学工学部教授)
- 学習成果発表(①常盤小学校5年生児童 ②木島小学校4年生児童)
- パネルディスカッション「水害に学び、防災を考える」
コーディネーター: 豊田政史(信州大学工学部准教授)
パネリスト: 足立正則(飯山市長)、平野弘蔵(木島小学校長)、兼子喜男(元飯山市消防団第7分団副分団長)、中村まゆみ(水害経験者)、堤 達也(千曲川河川事務所長)



基調講演：吉谷純一（信州大学工学部教授）



学習成果発表：常盤小学校5年生



学習成果発表：木島小学校4年生



パネルディスカッション

また、シンポジウムの開催にあわせ、堤防破堤による被害や教訓を風化させず、後世に引き継ぐことを目的に、昭和58年の破堤地点に碑を建立しました。



飯山破堤の碑 除幕式



飯山破堤の碑

担当:調査課